

<私は地球から来て挨拶している。>
私は愛と憎しみの世界からきた。
そこでは逃げることは運命のゆがみだった。
そこでは死は生きるための糧だった（食料だった）。
そこでは与えるものは聞くことのできない贈り物だった。
私は二つに分けられた橋の国からやってきた。
そしてその川は化学物質が潜んでいる（隠れている）ところをちょうど流れていた。 <<
私は公害で空が汚れ監禁が唯一の解決法だった国からやってきた。 <<
貢献することが殺人だった世界。 <<
未熟は聞くことのできない声。
私は王と大統領の国からきた。
証拠のないことが真の制御（コントロール）になる場所。 <<
魂の自由。 <<
昔に戻るにつれて冷めていく。 <<
私はもはや存在しない国から来た。

私は裕福でもあり貧乏でもある国からきた。
豊富な食事と飢え。
他の人たちが休日の夕食のときに、肉が切られているが子供たちは飢えている場所。
私は鉄砲やナイフのようなおもちゃが子供の本当に喜ぶプレゼントになっている場所からきた。
そこでは、サンタクロースの信じ方を教えてくれた。
しかし決して自分自身を信じる方法を教えてくれなかった。 <<
私はあなたを愛している。
私は秩序と無秩序の国からきた。
国境の横断は見てすぐに発砲することを意味していた。
殺し屋の視界から安全なのは夜だった。
私は倉庫の明かりで意識を取り戻した。
どうしてみんなとうまくやっていくことができなかったのか？
私は世界からきた。
もはや存在しない国から来た。

私は二百年間も夏に数百万人の大行進があってそれぞれのドラマーに合わせて歌を歌っていた世界からきた。
（そこは）大多数の人は貧乏で、ほんの一握りの少数の人々が優先され。
大人たちが一人寂しく死んでいく所で売春が行われる世界（女子学生の秘密の会員制社交ダンスパーティー）。 <<
私は壁が破壊された国から来た。一方では、お墓が造られていた。
地球温暖化は訴えている。 <<
最後の日は近い。
しかし皆が無知のために誰にも届いていない。（誰も聞くことができない。）
何を身にまとおうと毒は皮膚に届く（何を着ようとも毒は髪に色を塗る）。
そして大気圏 オゾンホールに穴をあける。 <<
もうこれ以上、破壊者（行為者）になりたくない。
心配していたのは結果（点数）のみ。
私は世界からきた。
私は世界からきた。
もはや存在しない国からきた。

水質汚染 water pollution (P211)・水質汚濁 (P225)

1)人の健康の保護に関する環境基準

アルキル水銀などの金属類、シアンやPCB、農薬などの化学物質に対する環境基準

2)生活環境の保全に関する環境基準

pH、生物化学的酸素必要量または化学的酸素要求量、浮遊物質(SS)、溶剤酸素(DO)、大腸菌数、油分などの指標であるn-ヘキサン抽出物が水域別に設定されている。

また、プランクトンなどの発生原因となる富栄養化を防ぐために、湖沼や海域では全窒素、全リンについても環境基準が設けられている。

さらにある地域での生活排水が下流地域での水源となりうるため、上流地域で排出される下水については適切に処理される必要があり、処理後の水について排出基準が定められてる。

有害物を含有する工場排水についても、排水規制が定められている。

大気汚染

発生源に固定発生源(ボイラーや溶解炉)と移動発生源(自動車など)がある。

粉碎や建築物の解体や崩壊、紫外線との光反応、土壌や水からの揮発、火山からの噴出などによっても大気は汚染される。

<指標>

二酸化イオウ(SO₂)、一酸化炭素、浮遊粒子状物質SPM、二酸化窒素(NO₂)、光化学オキシダント、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、ダイオキシン類

生命倫理 (P34)

一般に生命科学と医療技術がもたらした社会的倫理問題を、学際的に考察する分野と定義される。医療や生命科学がもたらす倫理的問題のみならず、環境問題や人口問題、動物の権利と開放などさまざまな問題を対象としている。

倫理の本質についての哲学的な問いかけ、生命の価値についての考察、人や人格とはなんなのかの探求、公共政策や科学の方向づけや制御などの問題を含む。

日本では、生命倫理を主に人権運動という観点からとらえる見方も存在する。

科学

根拠や証拠のない議論は倫理的社会的根幹の問題である。

地球温暖化

・温室効果ガス

太陽光線は地表の各種物質によって熱エネルギーに変換される。この熱エネルギーは赤外線として宇宙に向かって放射される。ところが、地球を囲む大気層にある気体(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンなど)は可視光線を透過するが、赤外線を吸収し、地表に再放射する性質をもつ。

・温室効果

地表温度は温室効果ガスによって太陽から地球までの距離から単純に算出される温度に比べて、約33度も高い平均約15度に保たれている。この気体の存在により、地表付近の大気が暖められる。

性生活

STDなどの感染症の問題やそれらからの悪性新生物による疾患などの発生などの問題

オゾン層破壊 (P220)

地上から10~50km上空の成層圏オゾン層は、地球に降り注ぐ太陽光のうち有害な紫外線の大部分を吸収して地球の生物を保護している。

かつて冷蔵庫冷媒、洗浄剤、発泡剤などに広く使用されてきたクロロフルオロカーボンが成層圏オゾン層を破壊することが明らかにされ、現在CFCを含むオゾン層破壊物質の生産および消費の段階的削減が行われている。

オゾン層破壊物質は分子内に塩素または臭素を含む化学的に安定した物質であり、これにはCFCのほかに、ハロン、四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、ヒドロクロロフルオロカーボン類、臭化メチルなどが含まれる。

塩素あるいは臭素原子は、これらオゾン層破壊物質が成層圏で分解されて発生し、触媒としてオゾン分子を分解しオゾン層を破壊する。この結果、有害紫外線が地上に降り注ぐことになる。